

輸出事業計画

申請者名：マルイ食品鶏肉輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・食の安心・安全に強い関心を持っており、日本産製品に強い信頼があることから、ニーズが高い
- ・鶏肉は品質の差別化が図りづらいことから、品質の違いがアピールできる付加価値のついた商品の引き合いが強い
- ・新型コロナウイルス感染症による内食需要の高まりにより、量販店からの引き合いが強く、業務用の2kgパックではなく、小分けパックのニーズが高まっている

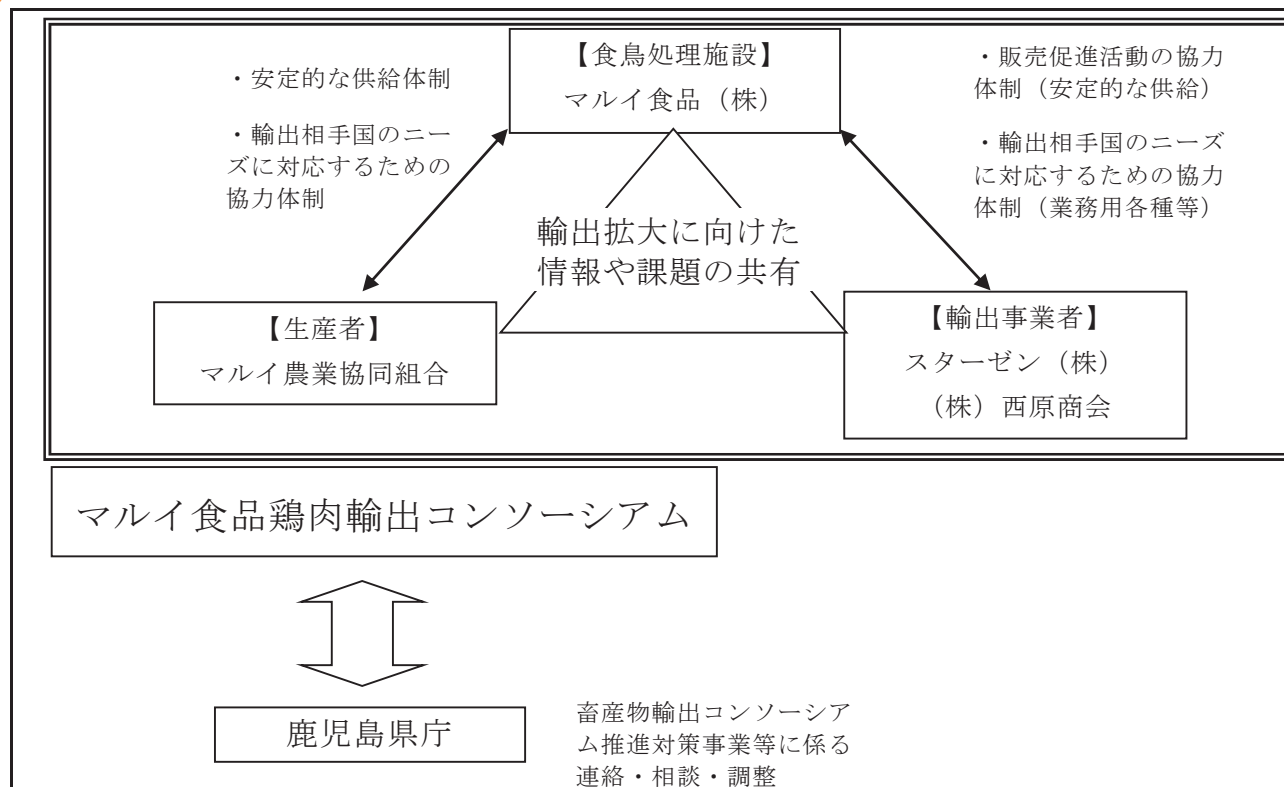
【課題】

- ・日本産鶏肉を輸出する新規参入業者との現地での競争が高まっており、輸出が伸び悩んでいる（香港）
- ・鳥インフルエンザが発生した場合、発生県で生産・処理された鶏肉の輸出が停止となるため、商流が途切れてしまい、輸出再開後再度商流の構築が必要（香港）
- ・令和2年9月に輸出施設認定は取得したものの、今まで輸出を実施したことがなく、商流を築けていない（マカオ）

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・鶏足を中心に輸出を行っていたが、飼養時の抗生物質不使用やコンテストで最優秀賞を受賞する等の付加価値をアピール可能な「南国元気鶏」を中心とした売込みを実施
- ・小分けパック製品や、切り身にして輸出するなど、細かい規格に対応した輸出を検討
- ・輸出停止となった場合に備え、鳥インフルエンザ発生シーズン前にまとめて荷を輸出するなど、輸入国側で在庫としておいてもらう体制の構築。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

申請者名：マルイ食品鶏肉輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

4. 輸出目標額

輸出品目：鶏肉

輸出先国：香港、マカオ

《現状》

令和2年実績

金額 70,245,000 円

重量 243.1 t

《目標年》

令和5年計画

金額 108,200,000 円

重量 303.4 t

計画比

154.0% (+37,955,000円)

124.8% (+60.3t)